

事業所職員向け 2022年度 児童発達支援自己評価表 自己評価表（コラボいなぎいなぎこども発達支援センター）

		チェック項目	はい	N/A	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%		
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努力している</li> <li>・子ども目線の高さや動線、安全を考慮し、物を配置している。</li> <li>・同じ部屋にてお集り、活動、食事などを行うため、机椅子の配置を工夫し、環境的に行うことを伝えている。</li> </ul>	お子さんが主体的に活動に取り組めるよう、遊びの部屋と活動の部屋と分けています。年度ごとにグループのお子さんご様子で使い方を考え、変えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	86%	0%	14%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日シルバー人材センターの方に清掃をお願いしている。</li> <li>・年2回程度大掃除を実施している。</li> </ul>	玩具など使ったものについてはお子さんが帰園後に毎日消毒を行っています。年2回程度は大掃除を実施し、エアコンフィルターなどを重点的に清掃していきます。また業者による施設設備点検や修繕を適宜行っていきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	86%	14%	0%		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	86%	14%	0%		ホームページ掲載後はご利用の保護者の方にアプリやお手紙などでお知らせします。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	86%	14%	0%		第三者による外部評価は行っていませんが、スタッフ間で必要に応じて、業務を勤務時間内に行えるよう相談しています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人主体で研修を行っている。</li> <li>・事業所内でも研修を年2回実施している。</li> </ul>	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	86%	0%	14%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回程度は個別療育専門スタッフが発達検査を実施して、フォーマルアセスメントをするようにしている。</li> </ul>	アセスメントの内容や項目についてスタッフ間で検討し、共有していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	0%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画の内容を非常勤スタッフにも共有し、計画に沿った支援ができるようにしている</li> </ul>	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曜日ごとのクラスリーダー全員で話し合っている</li> </ul>	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%		グループ療育については通所されるお子さんの理解に合わせて「分かって取り組める」ことを目的として、繰り返し同じ活動を行っています。個別療育についてもお子さんのニーズに合わせて、課題を工夫していきます。	

事業所職員向け 2022年度 児童発達支援自己評価表 自己評価表（コラボいなぎいなぎこども発達支援センター）

		チェック項目	はい	N/A	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	・毎朝、朝礼で内容や役割だけでなく、お子さんそれぞれの関わり方も共有するようにしている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	・時間の都合で参加できない職員は送迎時などに共有するようにしている。 ・アプリなどを用いて随時共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	・日々の支援記録や振り返り内容などはデジタル管理し、スタッフ間で共有している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	86%	14%	0%		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	86%	14%	0%		
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	0%		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	86%	14%	0%	・就学先の学校に就学支援シートを提出することで申し送りしている。学校によっては入学前後に面談を設けることもある。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	71%	0%	29%	・グループ療育については心理、OTのSVを受けている ・法人内の児童発達支援事業所間で活動内容や支援の工夫など、情報共有をする機会を設けている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	43%	0%	57%		交流については通所されているお子さんの必要性に応じて検討していきます。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	86%	14%	0%	・年3回程度は児童発達支援管理責任者が市の自立支援協議会子ども部会に参加し、情報共有を図っている。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	・送迎時や連絡帳などで直接会って伝えるようにしている。 ・アプリを持ちいて写真などを保護者の方と共有している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	71%	0%	29%	・プログラムではないが、支援で行っている。	ペアレントトレーニングは行う予定はないが、今後も個別に保護者の方の相談をお受けしていきます。 保護者会や保護者勉強会を開催し、保護者の方の力になるよう企画を考えていきます。

事業所職員向け 2022年度 児童発達支援自己評価表 自己評価表（コラボいなぎいなぎこども発達支援センター）

		チェック項目	はい	N/A	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	86%	14%	0%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	86%	14%	0%	・個別療育の際に近況を伺ったり、相談をお受けしたりしている。また必要に応じて保護者の方に来所していただき、面談を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	0%	・年3回程度保護者交流会、年3回保護者参加のイベント、年3回保護者勉強会を実施している。	グループ療育ご利用の方については継続して保護者交流会を実施していきます。個別療育をご利用の方については保護者勉強会などを継続して実施していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%		ご希望があれば個別に面談の時間を設けます。お気軽にご連絡ください。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	・月案やアプリにて発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	86%	0%	14%	個人情報の入った文書は中身が見えないように黒いファイルを用いるなど工夫をしている。	・再度環境面を振り返り、守られるべき個人情報が守られている環境となっているかを春休み等に行い、改善を図ります。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%		
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	29%	14%	57%		実施の予定はありませんが、市の障害者週間の作品展にこどもたちが作った作品を展示しました。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	86%	0%	14%	スタッフ内では感染症対策マニュアルに基づき、年1回程度訓練を実施しています。	マニュアル自体を改訂をし、スタッフや保護者の方に周知するよう方法を検討します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	86%	0%	14%		グループ療育については避難訓練やそれに代わるスタッフの災害訓練を定期的実施します。年間計画で作成し、確実に実施できるようにします。また避難所についてグループ療育玄関や個別療育室内などに掲示し、周知が図れるよう整備します。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	0%	利用登録票のご記入をお願いし、把握するよう努めている。必要に応じて対応マニュアルを個別に作成している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	72%	14%	14%	利用登録票のご記入をお願いし、把握するよう努めている。 グループ療育については食物アレルギーの有無は事前に把握し、アレルゲンとなる物を扱うような活動は行わないよう配慮している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	57%	14%	29%	毎日の振り返りで共有し記録している。	毎日の振り返りでインシデントを共有し、次の支援に活かしています。

事業所職員向け 2022年度 児童発達支援自己評価表 自己評価表（コラボいなぎいなぎこども発達支援センター）

		チェック項目	はい	N/A	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	法人全体会議の中で年2回研修を実施している。 事業所内でも年1回スタッフ全員で研修を実施している。	年1回の虐待防止研修と定期的に虐待防止会議を開催し、支援の中で権利擁護の視点を忘れないよう職員間で話し合っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	71%	0%	29%		対象児は今年度は在籍していませんが、身体拘束についての研修を虐待防止研修を実施し、身体拘束についての知識や組織的な決定プロセスについてスタッフ間で考える機会を設けます。